

「まちづくり協議会」立ち上げに向けて その5

令和3年1月28日に「下阪本学区まちづくり協議会設立準備会(以下『準備会』という)」を立ち上げて、はや1年が経ちました。新型コロナウイルス感染症に悩まされましたが、第1回『準備会』を同年2月21日に開催したのを皮きりに、その後都合5回にわたって『準備会』を開催いたしました。その間、8月24日には先進地視察研修会を実施して、和邇学区まちづくり協議会の取り組みや課題等について学びました。9月30日には「下阪本学区まちづくり協議会設立準備会全体会議」を開催し、『準備会』が取り組んできたことや今後の予定について、各種団体・各機関の代表(構成員1)や『準備会』のメンバー(構成員2)に説明いたしました。さらに、「下阪本学区まちづくり協議会設立準備会」の広報紙を9月と12月に発行し、それを下阪本学区居住の方々を対象に全戸配布することを通じて『準備会』の取り組み状況等をお知らせいたしました。



このように『準備会』で討議を重ね、ようやく「下阪本学区まちづくり協議会」の青写真が見えてきました。それを紹介します。

防災・防犯部会 【目標】「防災力の向上と減災」を目指し、住民が安定して過ごせるまちづくりを目指す
【取組】①自助の強化(平常時・災害時における避難に関する準備) ②共助の強化(交流の機会を強化等)
 ③防災訓練の強化(合同の防災訓練) ④防災情報のレベルアップ(防災情報弱者へのサポート。防災対応への支援等) ⑤災害リスクへの意識を高める(学区版ハザードマップの作成。学区の被災の歴史を学ぶ)

地域振興部会 【目標】学区内の交流が図れるような取り組みを積極的に行う
【取組】①『秋まつり』を実施 ②「下阪本クリーン作戦」への協力 ③イベントを行い、野菜等を販売 ④桜祭り(鯉のぼりフェスティバル等)を実施 ⑤工作教室の開催

教育・福祉部会 【目標】地域の教育活動や福祉活動に積極的に取り組む
【取組】①下阪本は歴史の宝庫(湖都通信に掲載) ②下阪本の歴史や文化を訪ねて(『みつはまファミリーウォーク』を実施) ③「かまどベンチ」を活用して(『みつはまファミリー体験』を実施) ④「下阪本小学校の夢プロジェクト」に協力 ⑤学区内の福祉施設との連携を強化

広報部会 【目標】まちづくり協議会の取り組みを地域に積極的に発信し、支援者や協力者を増やしていく
【取組】①HPの有効活用を目指して(その1)[HPの運営規則を守り、有効活用を行う] ②HPの有効活用を目指して(その2)[まち協・各種団体の取り組みを紹介。個人会員・団体会員の募集] ③「湖都通信」を定期的に発行 ④広報紙を随時発行

今まで『準備会』で話し合ってきたことを「下阪本まちづくり協議会」でより具体化し、『防災に強いまちづくり』『にぎわいづくり』『人づくり』に反映させていきたいと考えています。下阪本学区の皆さま、ご理解・ご支援のほどお願い申し上げます。

人と人を結びつける地域活動 10月23日(土) 下阪本学区まちづくり協議会設立準備会主催

「人と人を結びつける地域活動」の参加者は、児童26名並びにその保護者8名合計34名。そして、スタッフ36名。午前の部は、「かまどベンチ」を使った炊き出し体験。そして、みんなでカレーライスをいただきました。午後の部は、防災に関する〇×クイズから始まって、簡易テントの設営やダンボールベッドの組み立てなどを体験。親子のふれ合いだけでなく、地域とのふれ合いも十分できたのでは。併せて、地域の熱い思いが参加者に伝わったのではと自負しています。

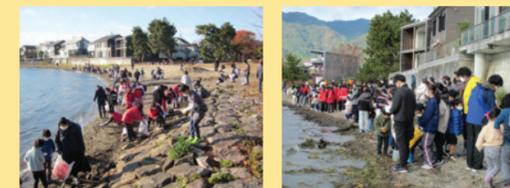
子どもたちや保護者が喜んでいる姿、はしゃいでいる姿を見て、この事業を継続するだけでなく、親子が参加できる新たな事業を企画したいと思っています。「子どもたちが地域行事に参加してみよう」、「友だちを誘って参加してみよう」となれば、下阪本はより活性化し、魅力的なまちづくりを実現できると考えています。



下阪本クリーン作戦&シジミ放流 12月4日(土) 下阪本子どもコミュニティー主催

地域を巻き込んだ「下阪本クリーン作戦」は、30年以上も続いています。以前は大量のゴミが捨てられていましたが、今では随分と減ってきています。今年の「下阪本クリーン作戦&シジミ放流」には、600人以上の地域の皆さんが参加して下さり、「私たちの湖は、私たちが守っていこう」といった気概を感じる事ができました。誠にありがたいことです。

小学生や地域の役員だけでなく、保護者や親子づれの参加者が多かったです。小さな子どもからお年寄りの方まで幅広い年齢層が同じ思いで活動している姿。そして、小中学生が中心となって、司会やイベント(環境宣言、シジミ放流)において活躍している姿。どれも地域の宝です。このように「下阪本クリーン作戦」は、理想の地域活動が展開できてきたように思います。この活動がなお一層定着し、ゴミ拾いの輪が広がってくれば、下阪本は持続可能なまちづくりが実現できるでしょう。



* しもさかもと再発見 --- 湖都彩々 --- ① *



雪の朝

1月14日は雪の朝でした。午前10時頃、湖岸は予想したほどの積雪はなかったものの、美しい雪景色が広がり、張りつめるような冷たい空気の中、太陽に照らされた湖面は一層輝きを増して輝いていました。

(志津浜にて)